

## 二人の逃避行

松下 幹生

あれは 20 と 5 年前  
あなたと私 手に手を取って  
最終夜汽車で 長崎へ  
知り合い頼りの 逃避行  
親子の縁を 切ってまで  
あなたと添いたい 私です

行った事ない 長崎で  
期待と不安 入り交じる中  
あなたと始めた 新所帯  
1 から揃える 生活は  
想像以上 厳しくて  
それでも二人 幸せで

どこに行くにも 坂の町  
海と山とが 綺麗なところで  
まわりの人達 温かく  
地元に住るよな 心地よさ  
二人で来れた 年月を  
振り返るたび 思い出す

帰ってみようか ふるさとへ